

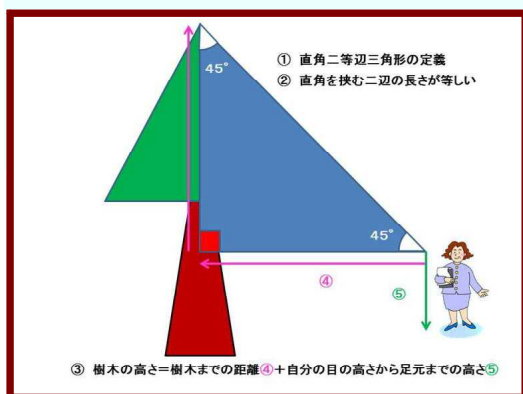
地域のもりから学ぶ森林づくり 2014

「森林の生物多様性を学ぶ」 第二回森林教室

樹木の大きさを測ってみよう

第2回森林教室は、6月9日(月)に定山溪小学校の5年生、6年生を対象として石狩森林管理署管内国有林2001林班で実施しました。

今回の第二回森林教室は「樹木の大きさを知ろう」と題して、定山溪の身近な森林にある樹木の大きさや自然を観察することなどを目的に実施しました。



樹木の大きさを調べるために、樹高を測定するタンジェントハイトゲージとツールパルスを活用し、木の太さを測定するために輪尺を活用して調べることになりました。

まず初めに、タンジェントハイトゲージは、小学校で学習した直角二等辺三角形の特徴である二辺の長さが等しいことを活用している機器であることを理解し、その機能等を知るために、学校グラウンドの旗掲揚ポールを樹木に見立てて、測定してみました。

生徒の皆さんは、初めて見る機器なので戸惑いながらも覗いてみて、なんとなく理解できたような・・・



少し理解できたところで、近くの森林(石狩森林管理署管内国有林2001林班)にみんなで出かけました。

生徒一人一人が森林の中にある1本の木をタンジェントハイトゲージやツールパルス、輪尺を使って測定してみました。グラウンドで実施した時と勝手が違い、森林の中では樹木の先端や根元が見えづらかったりするため、少し苦労していましたが、みんな、初めての経験で楽しく測定を終了することが出来ました。

その後、測定した樹木の特徴や木材としての使用方法などを説明し、樹木の特徴や大きさを知ること、樹木の活用方法とのつながりを知りました。

また、下山する途中で、クマゲラがエサを取るために掘った跡を見付け、森に住む動植物について観察したり、成長錐を活用して樹木の腐植度チェックの方法を上演しながら下山しました。



今後の日程

○7月9日(水)

第3回森林教室

無意根山登山、森林環境観察など

○9月24日(水)

第4回森林教室

環境保全、緑化活動など

定山溪の街の周辺には、様々な樹木がたくさんあります。森林の中の樹木には、どのような特徴があり、皆さんの生活にどのように活用されているか考えてみましょう。

